

# 新宿区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『新宿区成立70周年記念誌 新宿彩物語～時と人の交差点～』</p> <p>平成29年3月15日の区成立70周年を記念し、6月15日に発行しました。新宿区のおゆみを写真や図説のほか、新宿区にゆかりのある方々のインタビューも取り入れ、多様性や懐の深さといった新宿区の魅力も発信しています。</p>	1,500円
	<p>『新宿歴史博物館常設展示図録』</p> <p>約3万年に及ぶ歴史の流れを時代順に追いながらも、近代の文学者や「盛り場・新宿」など新宿区にとって画期的な意味を持っている時代・事象を取り上げています。</p>	1,000円
	<p>『新宿風景 ー明治・大正・昭和の記憶ー』</p> <p>本書は、新宿歴史博物館の開館20周年を記念し、新宿の変遷や文化、歴史の記憶を共感できる写真集にまとめたものです。明治・大正・昭和の新宿のまちのうつりかわり、そこに住み、暮らしてきた人々の姿を、未発表の新宿区広報課写真を中心に紹介しています。</p>	1,000円
	<p>『江戸切絵図』</p> <p>新宿区域の江戸時代後期（1850～60年代）の切絵図7枚を1枚に纏めた、新宿歴史博物館オリジナルの地図。牛込・四ツ谷・淀橋地域の当時の様子が一目瞭然です。</p>	1,000円
	<p>『江戸名所図会でたどる新宿名所めぐり』</p> <p>「江戸名所図会」とは、江戸後期に出版された観光ガイド。そこには区内の名所が約80項目にわたって挿絵入りで紹介されています。本書には当時の挿絵と現在の写真が併載されており、地域の変貌と隠れた歴史の探求が楽しめるよう工夫されています。</p>	900円
	<p>『新宿ゆかりの文学者』</p> <p>明治・大正・昭和を通じた、区内在住の文学者の交流をまとめた一冊。作家は居住地域ごとに分類されています。</p>	1,500円

	<p>『新宿の文化財 新宿文化財ガイド2013』</p> <p>新宿区指定・登録文化財147件（平成25年3月現在）および新宿区内の国指定文化財、史跡、国指定重要無形文化財保持者、東京都指定文化財等を豊富な写真とともに紹介しています。</p>	<p>800円</p>
	<p>『ステーション新宿』</p> <p>明治18年、甲州街道と青梅街道の分岐する内藤新宿の西のはずれに日本鉄道品川線(現在の山手線の前身)の新宿停車場が開業しました。同22年に甲武鉄道が新宿駅を起点に立川まで開通して以後新宿駅は交通の要衝として位置づけられ、以来100年余りの間に多くの交通機関の起点・接続点となり、一大ターミナルとして発展してきました。</p> <p>本書では、平成4年に行なわれた明治・昭和戦前期の移り変わりゆく駅と町の姿を紹介する企画展「ステーション新宿」の展示内容を中心に、さらに企画展では紹介しきれなかった資料についても収録し、駅と町の変遷を追っています。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『特急電車と沿線風景』</p> <p>本書は、平成13年度特別展「特急電車と沿線風景～小田急・京王・西武のあゆみと地域の変遷」の展示図録です。私鉄各社の沿線開発の流れの中で乗客誘致の切り札として運転され、多くの人々に親しまれてきた特急電車の歴史と特色、特急電車が結んだ観光地の姿について、新宿を起点とする小田急電鉄・京王電鉄・西武鉄道を中心に紹介していきます。</p>	<p>1,000円</p>
	<p>『巷の目撃者』</p> <p>今日、観光地の記念品などとして作られている絵はがき。かつては全く違った役割を持っていました。情報伝達の手段が少なかった時代、絵はがきは戦争や災害・イベントなど様々な出来事を絵や写真でいち早く伝える手段として、今で言う写真週刊誌のような役割を果たしていたのです。</p> <p>本書は、明治期～昭和初期にかけて発行された約1000点の絵はがきから、活気に溢れた多様で猥雑なその世界を紹介しています。（平成11年度特別展「巷の目撃者～絵はがきがとらえた明治・大正・昭和～」）</p>	<p>1,500円</p>